



TAC通信

2022年5月24日

第59号

Tとことん、A会って、Cコミュニケーション!!

労働力支援 ブロッコリー収穫と調製作業

J A えひめ中央管内(東温市)においてブロッコリー収穫作業の労働力支援を就労継続支援B型事業所利用者が農福連携で取り組みました。



作業は収穫3名×2組、調製1名に分かれて行いました。収穫では作業内容を3つに分けて細分化することで効率よく行い、支援員の指示のもとテキパキと行っていました。生産者も、一人では作業時間がかかってしまうため、**今後も労働力支援を導入していきたい**と話されました。



作業人数：7名(＋支援員2名)

実施時間：約2時間

収穫量：21キャリー

令和4年度 TAC 活動を通じた担い手支援要領について

担い手の経営改善と提案型活動の強化に取り組むとともに、効果的な担い手・JAへの支援をおこない、農業者の所得増大、担い手の確保・育成、農業生産の拡大を促進することを目的とし、各JAでのTAC月例会等にて「労働力支援推進対策」「複合経営規模拡大支援対策」「担い手育成体制整備支援対策」「生販マッチング支援対策」を説明しました。

1. 労働力支援推進対策

(1) 外部労働力の導入実証(目標:70戸)

対象	取り組む事項	助成算出
担い手	労働力支援に係る実証	調査研究費

(2) JA等の体制整備支援(目標:8JA)

対象	取り組む事項	助成算出
JA 法人	労働力の確保 農作業支援	労働力支援のための経費(農具費・備品類等)

2. 複合経営規模拡大支援対策

(目標:10戸)

○出向く活動を主軸とするJA TACの提案力とJAグループの総合力を活かし、中核農家の大規模化のチャレンジをJAグループが後押しし、系統分量の確保と生産基盤の拡大

対象	取り組む事項	助成算出 基礎費用
担い手	大規模経営化 支援実証	規模拡大のための経費(生産資材費等)

3. 担い手育成体制整備支援対策

(目標:9JA)

○将来の地域営農を担う新規就農・農業後継者の育成を行うJAおよび組織を支援

対象	取り組む事項	助成算出
JA 法人	研修生の 募集・育成	育成に係る資材費、 機械レンタル代、 募集経費

4. 生販マッチング支援対策

(目標:9JA)

○マーケットインに基づく企画販売や加工業務向け対応を強化し、農業生産の拡大に向け「新たな産地づくり」に取り組むJAや担い手を支援

対象	取り組む事項	助成算出
JA 担い手	新規作付に よる産地拡大	生産資材費

令和4年度 就農相談会

★愛あるえひめ暮らし移住フェア

5/28・7/3・9/4・11/12・
1/29・3/4

★マイナビ農林水産 FESTA

8月27日(大阪)

11月(東京)

2月(大阪)

*令和4年5月末時点



J A 全農えひめ 営農支援課

TEL:089-948-5754

zz_eh_ninaitetaisaku@eh.zenn

oh.or.jp